

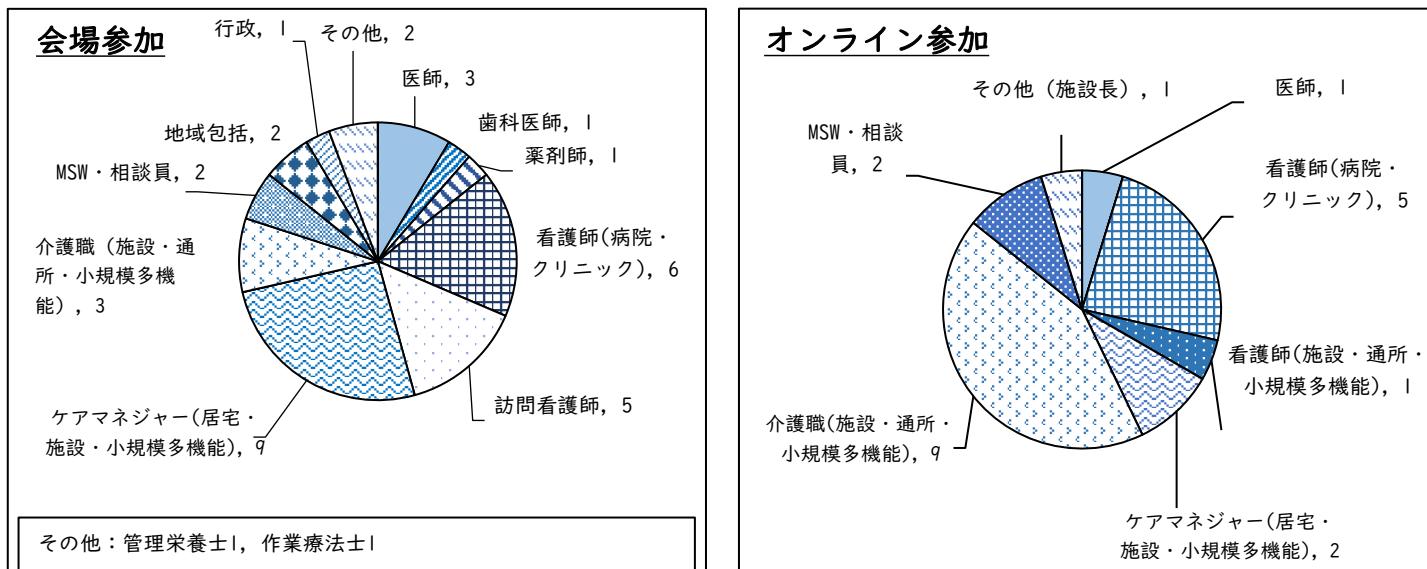
令和7年度 第3回いいせんネット研修会アンケート結果

(在宅医療支援センターによるアンケート)

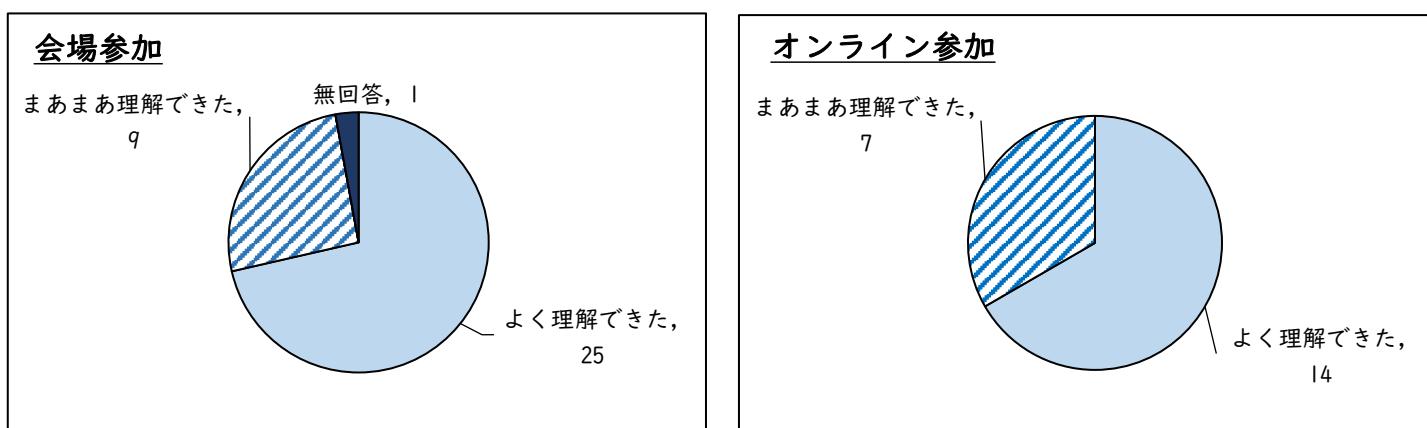
日 時： 令和7年12月11日(木) 19時～

回答率： 会場参加 34/ 35名、オンライン参加 21/ 31名

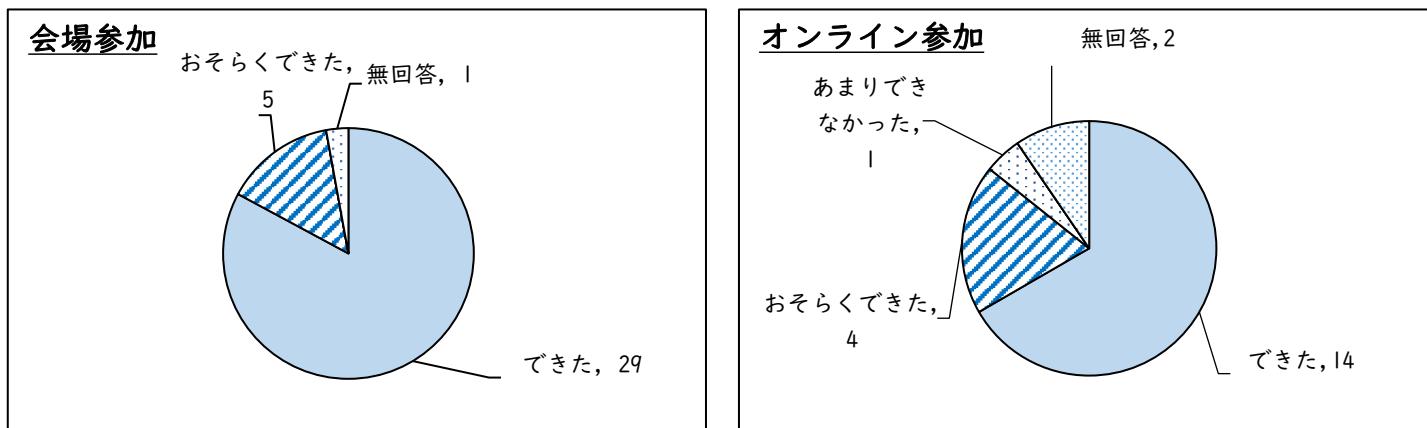
1. 職種について



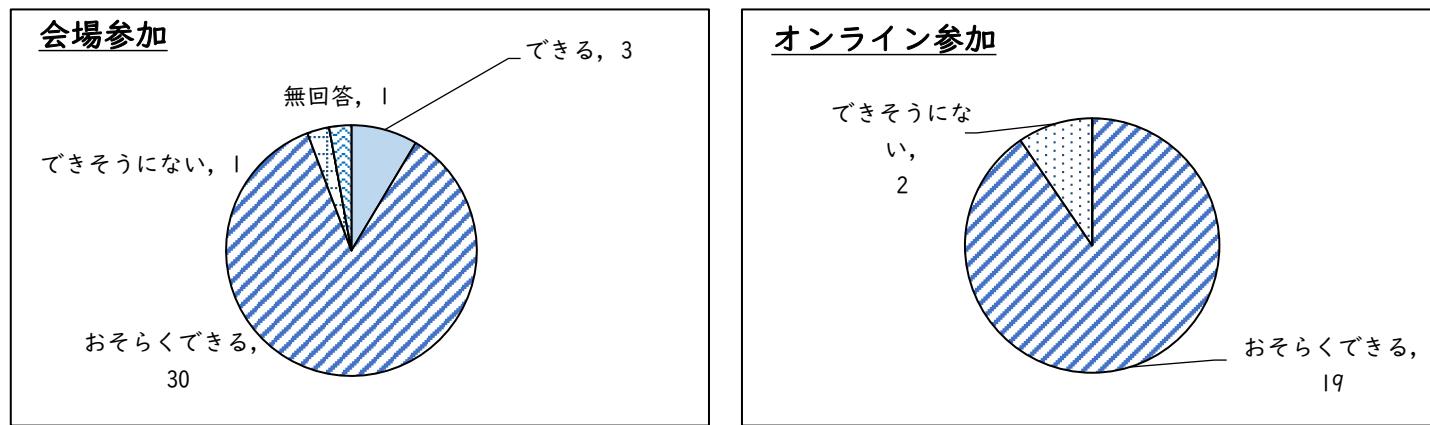
2. 講演の内容や適切な対応方法について理解することができましたか。



3. グループワークにおいて学びを深めることができましたか。



4. 今後、実際にハラスメント対応を行う際に、自信をもって対応できそうですか？



③、④と答えられた方はその理由を教えてください。

〈会場〉

その人の考え方で意見が違ってくる。話を聞いてトレーニングする機会が増える事が大事だと思いました。

1人の時にできる自信がない

〈オンライン〉

理解はできたが実際にマニュアルがなければ（職場）うまく対応できるか自信がないです。

患者は弱者であり利用者は守られるべきという思いが強く、自分が我慢すればあきらめればと思う意思がまだある。

具体的な例なども研修中あったが、色々な方と関わる中で、立場や事象も異なり、その異なるものが無数すぎる為、今回の研修で余計にじゃあどうすればいいの？と疑問や問題が増えた為。

5. 本日の研修内容について、ご意見等があればお聞かせください。

〈会場〉

ハラスメントの理解が深まり具体的な対策方法などとても良い学びができました。

ハラスメントの備え。組織として不足している準備があると気付いたので早速とりくんでいきたい。大変勉強になりました。ありがとうございました。

あまり学ばなかったテーマだったのでおもしろかった。自分が相手に対してハラスメントをしていいか日々意識したい。

望まない順をつける時に正反対の意見がでて興味深かった。

日頃の業務の中で時々おきていることだがなかなかあまずせていたり。病気の症状のひとつと無解決で終わらせてることが多いが色々知ることができて良かった。

ハラスメントの内容、対応、事例など知ることができた。

最後のグループワークがおもしろかった。

もっとハラスメントについて学びたいと思いました。

支援者である以上利用者からの強いあたりは「我慢するもの」と無意識に感じてしまっていることに気付いた。ハラスメントに直面する前に相談窓口、通報手段等と話していくことが重要だと学んだ。

パンフレットやフローチャートを使って研修してみようと思いました。

貴重なためになるお話をありがとうございました。具体的な例もあげていただきグループワークもできてハラスメントに対する考えを深めることができました。

今まで受けた研修はパワーハラスメントが主な内容だったが今日の研修はカスハラについての内容が濃く興味深かったです。苦情があった時に職員が悪いという所から入るのは2次被害となることもあると認識しました。

具体例がありわかりやすかった。

良い研修でした。

いろいろな考え方があるので対策が必要だと強く感じました。本日はありがとうございました。

いろいろな考えがあるので対策・検討が必要だと感じた。

決めごとをすることで対応がチームでできることを知りよかったです。

他の施設との情報共有や連携も大事だと今回の研修で学んだ。

職場のハラスメント対策を考えていきたいと思います。

〈オンライン〉

とてもわかりやすい研修でした。意識改革が必要と思いました。
グループワークの時間がもう少しほしかった。
ハラスメントに対する研修は初めてだったのでとても勉強になりました。職場においても色々な場面に遭遇しますが対応策など参考になりました。ホワイトクレーム・ブラッククレーム、暴言についての対応の仕方などとても参考になりました。ありがとうございました。
講義の進め方が上手く最後まで興味深く聴くことができました。まだ”暴力”に対する価値基準は人それぞれなんだと改めて気付かされました。
自分の意思の見直し、行動の見直しをしていく必要あると思った。
とても貴重な時間でした。
今後もこうした研修で実際の事例を元に研修して頂きたいです。
セクハラとか人によって感じ方も違う。KYT 危険に対してもっとまなばなければならない。
少し論点が違うが、管理者の責任は大きい、という部分は理解できるし、管理者の相談所の案内も最後にあったが、その相談所を使用しても身動き取れない、職員からも会社からも挟まれている管理者は多くおり、心の病や体調を崩す人も多いと思う。管理者の責任は分かるが、その管理者と言われる人達の救済は相談所などではなく、もっと具体的にできないのか?と思う。

6. 今後の研修会で聴いてみたい・学びたい内容があればお聞かせください。

〈会場〉

ストレスへの対応方法について学べる機会があれば学びたいです。
講師依頼はできますか？
実際のKYTのトレーニング

〈オンライン〉

実際に起こった時の対応等どうすれば良いか等あれば聞きたいです。
実践の具体的な内容

グループワークシート：いま感じる 暴力・ハラスメントは？ ※自由記載

〈会場〉

ケアの拒否で払いのけ、たたく、ける。
一つの訴え。
息子さん お母さんを蹴る（自宅で）。
歩けない親 お嫁さん 歩けるでしょ 追いつめる。
ストーカーされた 利用者家族に 今はセクハラ。
認知症の方につねられる。
利用者さん 車イス移乗 胸をにぎる方。
認知症の女性に日常的にたたかれたりする。陰部洗浄時男性が怒る
クリニック予約時間すぎて苦情、立腹し帰られる。誓約書を作った方もいる。
サービス提案しても「お金の目的だろ」等聞き入れてもらえず罵倒される。
家族がアルコールをのんで暴言。
訪問診療：男性の患者のセクハラ、看護師はうまくさけている様子。Drと一緒に同行しており訪問先ではない。
在宅からデイケアでこられる時に暴力がある。男性がいない時は離れる。
患者の待ち時間が長くなると怒る方も多い。
入院する部屋がないと待たせる事になる。職員間で情報を共有しながら早く早めに対応する等工夫している。

〈オンライン〉

--

グループワーク：望ましくない行為をした順に並べる

※ホワイトボード

〈会場〉

	1グループ	2グループ	3グループ	4グループ	5グループ	6グループ	7グループ	8グループ	9グループ
1	管理者	管理者	A	A	A	管理者	管理者	管理者	管理者
2	先輩	先輩	家族	管理者	家族	A	先輩	先輩	A
3	家族	家族	管理者	先輩	管理者	先輩	家族	家族	家族
4	A	A	先輩	家族	先輩	家族	A	A	先輩
5	新人								

望ましくない人ほど上